

2024年3月21日
沖縄科学技術大学院大学
沖縄電力株式会社

沖縄科学技術大学院大学 (OIST) と沖縄電力株式会社との 連携推進に関する覚書締結について ～脱炭素および持続可能な社会の実現を目指して～

1. 覚書の締結

沖縄科学技術大学院大学（学長兼理事長：カリン・マルキデス、以下、OIST）と沖縄電力株式会社（代表取締役社長：本永 浩之、以下、沖縄電力）は、本日、「学校法人沖縄科学技術大学院大学学園と沖縄電力株式会社との連携推進に関する覚書」を締結いたしました。

本覚書のもと、国際性豊かで学際的、先端的な研究教育活動を推進している OIST と、エネルギー事業で培ってきた知見とノウハウを持つ沖縄電力が双方の強みを活かし、脱炭素社会および持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。



OIST カリン・マルキデス学長兼理事長（左）と沖縄電力 本永社長（右）

2. 今後の展開（取り組みの方向性）

【覚書の協力事項】

以下の事項について、両組織幹部レベルの承認と研究開発案件管理を含む多層的連携確立を目指し、情報交換及び協議を進めてまいります。

- (1) カーボンニュートラル社会への持続可能なエネルギーに関する研究とイノベーション
- (2) カーボンニュートラル社会へ貢献する先行研究及び新技術の共同開発
- (3) 沖縄での持続可能なエネルギー実証基盤の構築
- (4) その他両者の利益に資する関連事項

2011年に設立したOISTは、科学分野の5年一貫制博士課程を置く学際的な大学院大学です。そのミッションは、先駆的大学院大学として、科学的知見の最先端を切り拓く研究を行い、次世代の科学研究をリードする研究者を育て、沖縄におけるイノベーションを促進する拠点としての役割を果たすことです。産業界や行政機関との協力を通じて実用化可能な研究成果を生み出すことにも注力しており、なかでも、持続可能な未来に向けたイノベーションを牽引する研究開発に取り組んでいます。

沖縄電力は、2050 CO₂ 排出ネットゼロの実現に向けたロードマップを公表し、県内エネルギー事業者としての社会的責任を果たすべく沖縄県全体のCO₂ 排出ネットゼロに向けて取り組んでいます。これまでに培ったおきでんグループの総合力を発揮し、脱炭素及び持続可能な社会の実現に向け、OISTと連携し、協力して取り組んでまいります。

以上